



ゆりぐみだより

2020年 3月 第5号

木々や花が芽吹き始める様子に、春の訪れを感じる季節となりました。1年が過ぎるのは早いもので、ゆりぐみに進級した頃の幼かった子ども達の表情が昨日のように思い出されます。1年間の行事などを通して、心も体もたくましく成長し、『自信』という宝を手に入れ、4月からは夢と希望をランドセルに沢山詰め、大きな一歩を踏み出そうとしています。

保育園生活も残りわずかになりましたが、心に残る思い出を1つでも多く作り、笑顔で送り出してあげたいと思います。

お店屋さんごっこ♪

ゆりぐみでお店屋さんを開こうと、お手伝いグループに分かれて張り切って準備を進めてきました。初めに「何のお店にするか?」「どんな材料を使って作るか?」をグループごとに話し合いました。そして実際に作ってみて、お互いに意見を出し合い、作り方を教え合ったりしながら少しずつ時間をかけて作り進めていきました。時には保育士もアイデアを出したり、手伝ったりしながら作っていくうちに「これも作りたい!」と作る物も増え、集中して取り組む姿が見られました。

子ども達一人ひとりが進んで意見を出し合い、話し合う姿に成長を感じ、とても嬉しく思いました。



↑お寿司屋さん



↓宝石屋さん



↓タピオカ・ドーナツ
サンドイッチ
屋さん



↑かき氷
アイスクリーム
屋さん



☆楽しかったお別れ遠足☆

待ちに待った大洗水族館のお別れ遠足。行きのバスの中では、「おやつを食べてもいいよ」と声を掛けると大喜び。どんなおやつを持ってきたのかなと興味津々で、友達と交換し合ったりしながら楽しく食べていました。おやつに満足すると、景色を見たり、指相撲をしたり、会話を楽しむ姿が見られていました。

水族館では、ペンギンの散歩やいろいろな魚を見て楽しみました。アシカ・イルカショーでは、水に濡れない席を選んで座ったのですが、いつ水しぶきがくるのかドキドキでレジャーシートを準備して観ている子もいました。

楽しみにしていたお弁当の時間。「見てみて~!」と嬉しそうにお弁当の中身を見せてくれる子ども達。すぐに食べ始めるのではなく、お友達と見せ合いをしてから、愛情いっぱいのお弁当を笑顔で食べていました。

帰りのバスでは、疲れて寝てしまうかと思いましたが、乗ってからすぐに残りのおやつを食べ始めたり、会話を楽しんだり元気いっぱいでした。子ども達の体力には驚かされました。

お別れ遠足を通して、子ども達の心にまた一つ素敵な思い出が出来ました。

